

2008春季生活闘争

J R 連合 F A X ニュース

1 8

2 0 0 8 年 2 月 2 1 日

日本鉄道労働組合連合会

JR九州労組 第1回団交開催

要求趣旨説明を実施

今後の団交で具現化を目指す！

J R 九州労組は、本日、第 1 回団体交渉を開催し、2 0 0 8 春季生活闘争の要求趣旨説明を行った。

同労組は、「J R は国内産業であり、真の景気回復を実現させていかなければならない。」としたうえで、「不安定な国際情勢はあるものの、内需を拡大するためには今春闘における賃上げが必要である。」と、強く主張した。

一方、会社側は、「昨年まで経済も順調に推移していたが、今年に入ってアメリカのサブプライム問題で証券・金融市場が痛んでおり、加えて物価上昇や原油価格高騰による動力費への影響も先行き不透明である。」と強調し、「こうした状況下でJ R 九州の来年度事業計画は、厳しい状況が予想される。」として、賃上げに対しては慎重な態度を示した。